地域の事例紹介 -牧西自治会- 資源ごみ回収袋

牧西自治会会長 河田 文雄 さん

混ぜればごみ 分ければ資源

―不燃ごみに有害ごみが混ざるほかに、『資源ごみ』が混ざっている問題もあります。混入により、不燃ごみの量が増える（＝処分費用が増える）だけでなく、リサイクルして活用できるはずだった資源も減ってしまいます。そんな問題を解決するため、独自に『資源ごみ回収袋』を設置したのが牧西自治会。資源ごみ回収袋は、月に1回の収集日以外でも、普段のごみと一緒に資源ごみが出せるようにと牧西自治会内すべてのごみ収集所に設置された、資源ごみを入れて保管する袋です。

牧西自治会では、環境衛生推進委員や役員が協力し、袋の回収や分別作業を行い、資源を無駄にしないために活動しています。こうした取組を続ける牧西自治会会長の河田文雄さんにお話を伺いました―

きっかけはある一言

「取組を始める前は、不燃ごみの袋に入っていた9割近くが資源ごみで驚きました」。当時環境衛生推進委員だった河田さんは、この現状を変えなければ、と自治会内の放送や回覧を使って啓発活動を行いました。しかし、分別の仕方や必要性は広まりましたが、資源ごみの混入はなかなか減らなかったそうです。

「改善のきっかけは、『資源ごみは普段のごみと一緒に出せないから不便だ』と意見をもらったことでした」。資源ごみは収集所が限られるうえに、収集日が月1回のため、長期間のごみの保管が必要で負担になります。その結果が、不燃ごみの収集日に資源ごみを出すというロスにつながっていました。

「それも当然で、手間無くいつでも出せる方法を模索しなければと考えて、資源ごみ回収袋を思いつきました」。

資源ごみ回収袋設置後も回収袋があふれないよう、こまめに回収するなど活動を続けました。その結果、不燃ごみに混ざる資源ごみは3割程度にまで減少、適切に処理される資源ごみの量を年々増加させることに成功しています。

自治会全体の意識も変わる

河田さんは、この取組を続けるなかで、自治会全体のごみ出し意識も変わってきたと話します。取組を始めてから、ペットボトルを洗ってから出してくれる人が増え、そのつど、お礼を伝えていたところ、さらに分別に協力してくれる人やごみ出しのルールに気を付ける人が増える、という好循環が起きているそうです。

「一番大切なことは、自分が出すごみを適切に処理するという『当たり前の事』を『当たり前にやる事』です。少しずつでもいいので広まって欲しいですね」。

check なぜ資源ごみを集めるの？

現在のペースでごみが出続けると、埋立地があと20年程で限界をむかえると予想されています。資源ごみを適切に分別・リサイクルしてごみを減らす事が、次の世代の生活を守ることにつながります。

【牧西自治会資源ごみ回収量】

	令和３年８月	令和６年８月
飲料用缶	135kg	240kg
ペットボトル	204kg	420kg

取組開始前に比べ、資源ごみが１か月当たり合計321kg増加！

ごみの出し方を確認してみませんか

ごみを出す前の３つのチェック

毎日の生活の中で、必ず出てくるごみ。きちんと分別したつもりが、実は誤った分別になっているかもしれません。分別を誤ると、リサイクルに協力するはずが、逆に妨げとなってしまったり不法投棄になってしまうことも。

便利なアプリや制度を使って、正しい分別を手間なく始めましょう。

1 ごみ分別アプリをチェック

職員も愛用する便利なアプリ！

ごみの収集日やごみの出し方、出す際の注意点等さまざまな情報がスマートフォンで確認できる『児玉郡市ごみ分別アプリ』を配信しています。ダウンロードして日々のごみ分別に活用しましょう。

iOS　Android

2 リサイクルやごみの減量に便利な取組をチェック

①ごみ減量・リサイクル協力店

店舗で資源ごみ回収等を実施しています（利用の際は各店舗のルールをご確認ください）。

②資源ごみの拠点回収

市役所や公民館等で資源ごみの回収を実施しています。回収場所と回収品目について、詳しくは市HPへ。

③ボックス回収

市役所やアスピアこだまの窓口で小型家電・バッテリーの回収を実施しています。

※各制度・取組について、詳しくは市HPへ。　市HP

3 出し方を間違えやすいごみをチェック

バッテリー（有害ごみ）が不燃ごみの日に出されたり、フライパン（不燃ごみ）が資源ごみの日に出されるといった誤りがよく見られます。ごみを出す前に、別区分のごみが混ざっていないか袋の中をチェックしましょう。

※これらのごみは、リサイクル協力店や拠点回収では回収していません。お住いの地域の決められた収集所へ。

生活の先にごみがあり、ごみの先には生活がある

私たちが捨てたごみは消えるのではなく、収集所に出された後も多くの人が関わり、処理されています。その処理の過程や結果は、私たちの生活に深く関わっています。

不適切なごみ捨ては、処理に関わる人の負担を増やしたり危険にさらすだけでなく、最終的に自分たちの生活に大きな影響を与えます。ごみ処理に関わる人、そして私たちのまちの生活を守るためにも、正しく分別をしましょう。

集団資源回収予定表　＜回収品目は古紙類・缶類です＞

回収場所	日程	時間	問合せ先
本庄南公民館 ※布類回収も実施	11月９日㈯	午前９時～11時	佐久間さんち ☎22-９３００
就労継続支援Ｂ型事業所 「佐久間さんち」（本庄高校北側）	随時受付		ポノポノ ☎23-２１９５

※天候等の理由で変更になる場合があります。各団体にご確認ください。

■令和６年８月分のごみの量
（可燃・不燃・有害・粗大）
家庭系ごみ排出量 1,588.25t
１人１日当たり排出量約 666g
前年同月比 -31g（-4.5%）
事業系ごみ排出量 561.73t
１人１日当たり排出量約 235g
前年同月比 -35g（-12.8%）